

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 17日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都品川区東品川4-10-1

氏名 コナミスポーツ株式会社
代表取締役社長 落合 昭

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	コナミスポーツ株式会社 （旧社名）株式会社コナミスポーツクラブ 代表取締役社長 落合 昭				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都品川区東品川4-10-1				
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業			
	中分類	80 娯楽業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	3,213	kl	自動車の台数	台

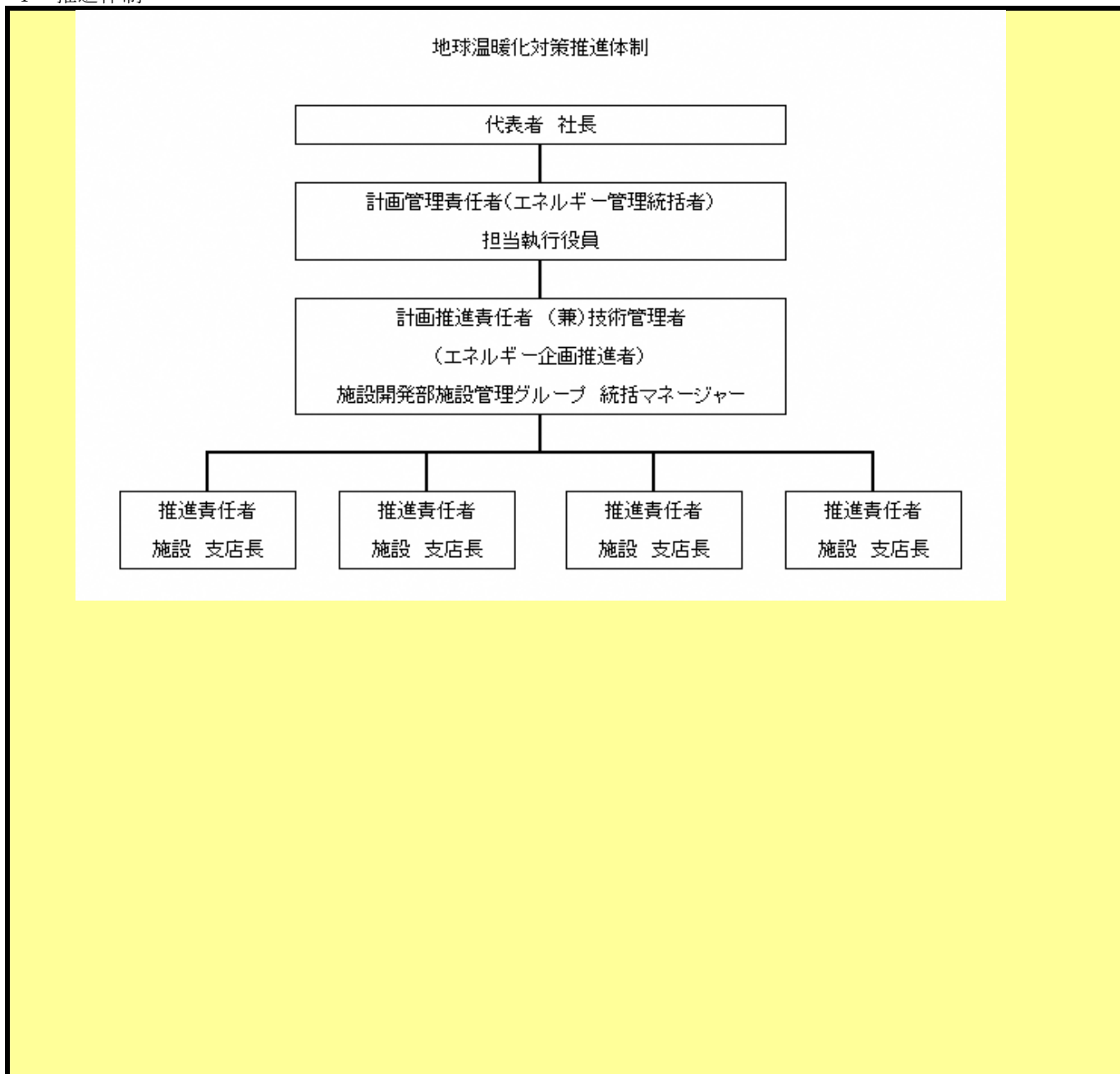
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2017	年度 ～	2019	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] 計画的に老朽化機器の高効率機器への更新を進めることで、社内省エネルギー化の推進を図る。 特に、空調（電気・ガス）およびボイラーの更新を計画的に実施していく。 インバーター、LED、節水器具の導入を積極的に行う。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 ・空調機器 ・ボイラー</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 電気・ガス消費量が大きいため。</p> <p>③設備更新スケジュール 平成29年度～平成33年度の5か年で老朽化機器の更新を計画。</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	(本社) 総務部
	所在地	東京都品川区東品川4-10-1
	閲覧可能時間	10時～17時
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2016年度)	基準排出量	6,757	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	6,695	t-CO ₂				目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2019年度)	目標排出量	6,554	t-CO ₂	削減率	3.0 %	目標原単位	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	以下施策を中心として、各項目運用の徹底によりCO2削減を実現する。 1. 空調・ボイラーの老朽化機器の高効率機器への更新 2. 電力使用機器の改善（照明機器のLED化、空調や照明のゾーンング等） 3. コージェネレーションシステムの導入または更新 4. デマンド管理の実施継続									
事業者全体としての目標等	横浜市を含む全社対応として、温室効果ガスの排出量原単位の削減をはかるため、排出量原単位の値を年平均で1%以上削減する。									
第一年度 (2017年度)	排出量	6,558	t-CO ₂	削減率	2.9 %	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後	6,390	t-CO ₂	削減率	4.6 %		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明	動力電力削減の為、プール循環計系統のろ過ポンプにインバーター制御設備を追加。照明器具更新時にLED等高効率照明器具に順次更新し、実質排出量の初年度4.6%達成。引き続き各項目の実施精度を向上することにより、Co2排出量削減に努めます。									
第二年度 (2018年度)	排出量	6,291	t-CO ₂	削減率	6.9 %	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後	6,051	t-CO ₂	削減率	9.6 %		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明	浴室循環計系統のろ過ポンプにインバーター制御設備を追加。照明器具更新時にLED等高効率照明器具に順次更新、ボイラーを高効率機器へ更新（青葉台支店：8月）排出量の初年度9.6%削減。引き続き各項目の実施精度を向上することにより、Co2排出量削減に努めます。									
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明										
計画期間全体の排出状況に関する説明										

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満	1	1,085	1	1,075	1	1,060		
500k l 未満	8	5,672	8	5,483	8	5,231		
合計	9	6,757	9	6,558	9	6,291		

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	9/9	—	年度		実施済	9/9	—	年度			/	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	3/9	—	年度	高額な投資を要する為。	実施中	4/9	—	年度	高額な投資を要する為、検討中。		/	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	3/9	—	2019年度		2019年度に実施完了に向け計画中。	実施済	9/9	—	年度		管理標準に基づき実施開始	/	—	年度	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	3/9	—	2019年度		2019年度に実施完了に向け計画中。	実施済	9/9	—	年度		管理標準に基づき実施開始	/	—	年度	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		社内PCツールにて電気、水道、燃料の使用量を毎日記録。	実施済	1/1	—	年度		社内PCツールにて電気、水道、燃料の使用量を毎日記録	/	—	年度	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度		設備・電気図面等を対象支店及び本社で集約・確認中。	非該当	0/0	—	年度	蒸気、圧縮空気は未使用の為、当該対策は非該当	/	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度		外気温に応じたAHUのOAダンプの適正開度の調査実施。	実施中	0/1	—	2019年度		エアハンと空調の制御場所などの確認を進める	/	—	年度	
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			/	—	年度	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度		各ろ過ポンプへのインバーター制御機器の設置。各ポンプの定格流量は2018年度中に確認。	実施済	1/1	—	年度		利用人数に応じたインバーター制御機器の運用	/	—	年度	
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度	費用対効果を鑑み見合わないため。		実施中	0/1	—	年度	建物管理会社へ相談中		/	—	年度	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	0/9	—	2019年度		各居室の規定温度は設定したが、測定・記録を行っていないため完了予定年度を変更。	実施済	9/9	—	年度		管理標準にて実施開始	/	—	年度	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	未実施	未実施	0/4	—	年度	実施困難なため対策から除外。		実施済	4/4	—	年度		各支店案内運用済み	/	—	年度	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	6/9	—	2019年度		順次、更新中。	実施中	6/9	—	2019年度		順次、更新中。	/	—	年度	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施中	0/9	—	2019年度		各OA機器の未使用時の対応につき順次計画化。	実施済	9/9	—	年度		管理標準にて実施開始	/	—	年度	
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		実施中	(設備の種類) 冷水発生機 0/1	—	2019年度		建物管理会社へ相談中	(設備の種類) /	—	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		実施中	(設備の種類) 冷水発生機 0/1	—	2019年度		建物管理会社へ相談中	(設備の種類) /	—	年度	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		(設備の種類) /	—	年度	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		(設備の種類) /	—	年度	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		(設備の種類) /	—	年度	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		(設備の種類) /	—	年度	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		(設備の種類) /	—	年度	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		(設備の種類) /	—	年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	240	東京電力エナジーパートナー(株)、 (株)エネット
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	1. 節水シャワーの導入による水道使用および給湯熱源の使用量削減
計画期間内に実施する対策	1. 節水シャワーの使用継続・更新による水道使用および給湯熱源の使用量削減継続
第一年度実績	1. 節水シャワーの使用継続・更新による水道使用および給湯熱源の使用量削減継続
第二年度実績	1. 節水シャワーの使用継続・更新による水道使用および給湯熱源の使用量削減継続
第三年度実績	

14 実施状況等に対する自己評価

年に1回の節水シャワーのメンテナンス及び吐水量の調整を実施し使用量削減継続できております。
